

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、該当委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	脳卒中患者の回復期における生理的ニードからみた内服薬の傾向			
② 実施予定期間	2016年8月～2017年3月（予定）			
③ 対象患者	脳卒中後のリハビリテーション目的で聖マリアヘルスケアセンターにご入院された方			
④ 対象期間	2015年6月～2018年3月31日			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリアヘルスケアセンター			
⑥ 対象診療科	看護部			
⑦ 研究責任者	氏名	橋本美紀	所属	看護部病棟師長
⑧ 使用する資料等	例）診療情報より下記事項を調査します。 ・年齢、性別、・脳卒中の分類、運動麻痺の程度 ・入院から退院までに処方された薬剤の種類（薬剤名称） ・看護師の記述した看護診断名			
⑨ 研究の概要	回復期リハビリテーション病棟においては、積極的なリハビリテーションの治療が開始されます。しかし、運動麻痺により身体の活動量が低下することによって、便が出ない、眠れないと訴えられる患者様が多くいらっしゃることを経験しています。 排便や睡眠といった生きるために必要な生理的な欲求に関する問題が生じると、リハビリテーションの阻害因子となることが予測されます。しかし、これらの課題に関しては、現在、皆様の症状に基づき薬物療法が主体になっている現状にあります。しかしながら、投与されている薬物の種類や量について、看護師が十分に理解し、薬剤の効果を高める看護介入が検討されているとはいえない現状にあるのではないかと考えました。 そのため、本研究においては、脳卒中により回復期リハビリテーション病棟に入院している方々を対象とし、看護診断と薬物療法の関係について調査することを目的としました。 本研究により、脳卒中患者さんの生理的な欲求と内服薬の関係、看護診断との関係があきらかになると、生理的な欲求を充足するための看護介入の必要性を示すことが可能となり、看護介入への資料の一助となることが期待されます。			
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2016年8月8日		

⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	研究で得られた成果は、国内外の脳卒中リハビリテーション看護に関係する学会、リハビリテーション看護に関係する雑誌に、論文等で発表することがありますが、情報は全て匿名化して扱いますので、個人が特定されることは決してありません。			
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。得られたデータは、3年間鍵付きの場所に保管した後、研究責任者が責任を持ってシュレッダーによる裁断、保存媒体の消去を行います。情報は、本研究の目的以外に使用することは決してありません。このような情報の使用について、ご承諾いただけない方は、いつでも結構ですので下記連絡先にご連絡下さい。研究に協力頂かなかった場合でも、不利益を受けることは決してありません。			
⑭ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します			
⑮ 研究の資金源	特にありません			
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリアヘルスケアセンター4階 回復期病棟 病棟師長 橋本美紀			
	電話	0942355522 (代表)	FAX	0942343306 (代表)